

感染症と登園の目安



①医師が記入した「登園許可証」が必要な感染症

病名	おもな症状	潜伏期間	出席停止期間
インフルエンザ	突然の高熱関節痛、筋肉痛 鼻みず、咳、のどの痛み	1～3日	発症した後5日を経過しかつ解熱後3日を経過するまで。（発症した日、解熱した日の翌日を1日目とする）
百日咳	コンコンという短く 激しい咳が続く	1～2週間	特有の咳がなくなるまで。または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで。
麻疹 (はしか)	発熱、鼻汁 目やに、発疹、くしゃみ	9～12日	解熱後3日を経過し、体力が回復するまで。
結核	発熱、咳、喀痰、咯血 疲労、体重減 等		医師が感染の恐れがないと認めるまで。
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺の腫れと痛み 発熱、頭痛、食欲不振	2～3週間	耳下腺、顎下線などの腫れが出現した後5日を経過し、かつ全身が良好になるまで。
風疹 (三日はしか)	発熱、発疹 リンパ節の腫れ	2～3週間	発疹が消えるまで。
水痘 (みずぼうそう)	発疹、水ぼう、かさぶた かゆみがある	2～3週間	すべての発疹がかさぶたになるまで。
流行性角結膜炎 (はやり目)	目の異物感、充血、目やに	4～10日	伝染の恐れがなくなるまで。 結膜炎の症状が消失してから。
腸管出血性大腸菌感染症 (O-157等)	激しい腹痛、嘔吐、発熱 水様性の下痢、血便	4～8日	伝染の恐れがなくなるまで。 結膜炎の症状が消失してから。
咽頭結膜熱	急に高熱を発症し、発熱	5～7日	主な症状がなくなるまで。
髄膜炎菌性髄膜炎	頭痛、発熱と 首を動かしにくくなる硬直	3～4日	医師が感染の恐れがないと認めるまで。

②医師判断で登園許可、できるだけご家庭で様子を見ていただきたい感染症

病名	おもな症状	潜伏期間	出席停止期間
ヘルパンギーナ	高熱、食欲不振 喉の奥に水ぶくれ	2～7日	解熱し、食事も十分出来て、体力が回復するまで。（解熱後1日以上）
溶連菌感染症	高熱、発疹 咽頭痛、いちご舌	2～4日	抗菌薬を飲み始めて24～48時間経過し、 体力が回復するまで。
マイコプラズマ肺炎	激しい咳、咽頭炎、発熱	2～5日	発熱や、激しい咳が治まるまで。 体力が回復するまで。
伝染性紅斑 (りんご病)	両ほほの赤み、発熱 じんましんのような発疹	1～2週間	医師の判断による。
手足口病	軽い発熱 小さな水疱が口の中や手足に出来る	3～5日	発熱や、口腔内の水疱、潰瘍の影響がなく、 普段の食事が取れるようになるまで。
RSウイルス	発熱、鼻みず、咳	2～5日	呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなるまで。
突発性発疹	発熱、発疹	1～2週間	解熱し機嫌が良く、体力が回復するまで。 感染のおそれがないと診断されるまで。
帯状疱疹	小水疱が片側にできる	不定	すべての発疹がかさぶたになるまで。
ウイルス性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	おう吐、下痢 発熱、腹痛	1～3日	嘔吐、下痢等の症状が治まり、 普段の食事がとれること
伝染性膿痂疹 (とびひ)	からだに水泡ができ、破れて膿が出る	2～5日	皮疹が乾燥しているか、 湿潤部位が、被覆出来る程度のものになるまで。
ウイルス性肝炎 (A型、B型)	急激な発熱、食欲不振 悪心、嘔吐。	14～180日	肝機能が正常になるまで。 全身状態が良くなるまで。
流行性嘔吐下痢症 (感染性胃腸炎)	突発の嘔吐・下痢 軽度の発熱	1～3日	24時間以内に2回以上の嘔吐・下痢がない。 食事、水分を摂取でき、元気がある。

③登園停止ではありませんが、医師の処置を受けた上で適切な対応を相談する感染症

病名	病名
しらみ	水いぼ
ぎょうちゅう	ヘルペス性菌肉口内炎